

大切な人を助け出すために・・・

地震発生時の救出・救護

災害の規模が大きければ大きいほど、消防や警察、自衛隊による救助活動が被災地域全体でただちに始動することは困難です。特に災害発生直後は、近隣住民がお互いに助け合い、負傷者などの救出や応急手当を迅速に行うことが重要です。

いざというときに、自分自身や大切な人の命を守るためにも、今から考えてみましょう。

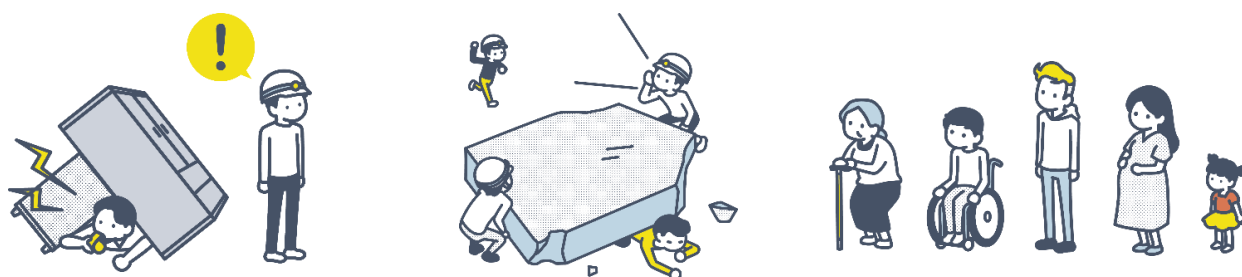
阪神・淡路大震災で多くの人を助けたのは誰か？

阪神・淡路大震災で、生き埋めや閉じ込められた人の救助の9割以上は、

自力又は家族や友人・隣人・通行人などによるものでした。

個人や家族だけの力では、できることにも限りがあります。

地域の自主防災組織の活動にも関心を持ち、いざというとき助け合えるようにしましょう。



自主防災組織の活動について詳しくはこちら



救助を求める人を見つけたら・・・

- まわりの人に大声で協力を求め、力を合わせて助け出します。
 - 挟まれている人に声をかけて安心感を与え、取り残されている人の数を確認します。
 - ヘルメットや軍手などを使用して、救出活動を行う人の、安全を確保します。
- 上方からの落下物や鋭利な金属による切創、足場の釘の踏み抜きなどに注意しましょう！
活動の監視者を置き、余震や救出作業による建物の崩壊などの二次災害に備えましょう！

救助法を動画で見るとはこちら



総務省消防庁 防災・危機管理 e カレッジ 【倒壊家屋からの救助】【ブロック塀からの救助】

インターネットで応急手当の基礎を学べます！

救急講習に行く時間がないという方のために、インターネットがつながる環境があれば、パソコンやタブレット、スマートフォンで、だれでも好きな時間に応急手当の基礎知識を学べます。

何度でも繰り返し見ることができるので、一度救急講習を受講してから時間がたって忘れてしまった人も、この動画を利用して何度も復習することができます。

一般市民向け 応急手当WEB講習

目の前で誰かが倒れてしまったとき、
あなたは助けてあげることができますか？

特別な資格がなくても、誰にでも行えるのが応急手当です。
万が一の緊急事態に備えて、適切な応急手当を学び、
日頃から身につけておきましょう。



応急手当を学びましょう



応急手当とは



心肺蘇生 一連の流れ



操作方法

 消防庁

応急手当WEB講習を実施する場合はこちら



総務省消防庁【一般市民向け応急手当WEB講習】

他にも防災情報がたくさん！
「防災に役立つチラシ集」



楽しく動画で防災を学ぼう！
「にしのみや防災チャンネル」

